

修練会の気になる 1 冊 (ほん・本・ブック)

公益財団法人豊島修練会 令和3年3月号 (通算第53号)

子どものほん (子ども、小学生&中学生)

宮沢賢治著「新編・銀河鉄道の夜」 新潮文庫 本体 440 円

「アメニモマケズ」「風の又三郎」「セロ弾きのゴーシュ」などで有名な宮沢賢治を知らない人は少ないだろう。この「銀河鉄道の夜」は、完成する前に亡くなり、草稿（まだこれから修正していく原稿）で残されたものです。孤独で空想好きな少年ジョバンニは賢治で、親友のカムパネルラは妹のトシのことだと言われています。銀河鉄道に乗って、ジョバンニは「みんなの本当の幸せのためにつくすことに、生きる意味がある」と気づくのです。あなたも、この童話を読んで「本当の幸せとは何か」を考えてみましょう。



大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)

奥野克巳&近藤祉秋&辻陽介編「コロナ禍をどう読むか」 亜紀書房 本体 2200 円



本書は、新型コロナ禍で、感染防止の対策や体験を通して考えたこと、感じたこと、提案などを、様々なジャンルの 16 人の専門家による密度の濃い対話を収録したものである。

また、表紙は、なんと大小島真木さんの「世界に見られている」という素敵な装画である。

内容は、「ウイルスは人と動物の『あいだ』に生成する マルチスピーシーズ人類学からの応答」「接触と隔離の『あいだ』を考える コロナ時代の愛をめぐって」「ケアが『閉じる』時代の精神医療 心と身体の『からだ』を考える」など、8つの対話を堪能できる。

タイトルからは、ちょっといかめしいような印象を受けるが、じっくり読むと、「なるほど!」「そうだったのか!」と、たくさんの事を知ることができ、コロナ禍を超えて、生き方を考えるヒントが得られる。(と、私は感じた)

学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

大前研一著「新・仕事力『テレワーク時代』に差がつく働き方」小学館新書 本体 820 円

昨年は COVID-19 の影響で、感染防止「3密」と「学習の遅れ」と「授業時間の確保」に翻弄された。企業ではテレワークで対応したが、学校は一部でオンライン授業などを行ったものの苦勞した（今現在もその影響を引きずっている状況がある）。

本書は、これからの企業で、自己の能力を發揮し、生き甲斐をもって働くためにどうしたらよいかを提言している。それを傍証するために、国政や公務員の働き方、学習指導要領の不十分な事柄について辛口の批判で充満している。逆に、本書を反面教師として、学校（教師）はどのような働き方をしたらよいか考えるヒントにしたい。(積読の H.K)

★備考★話題提供のために紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。

[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「気になる 1 冊」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。



